

横浜市庁舎建設タイムズ

第7号

平成31年2月

～外壁工事も進み建物の全体像が現れ始めました！～

発行：横浜市総務局新市庁舎整備担当、建築局新市庁舎整備担当
作成編集協力：竹中・西松建設共同企業体



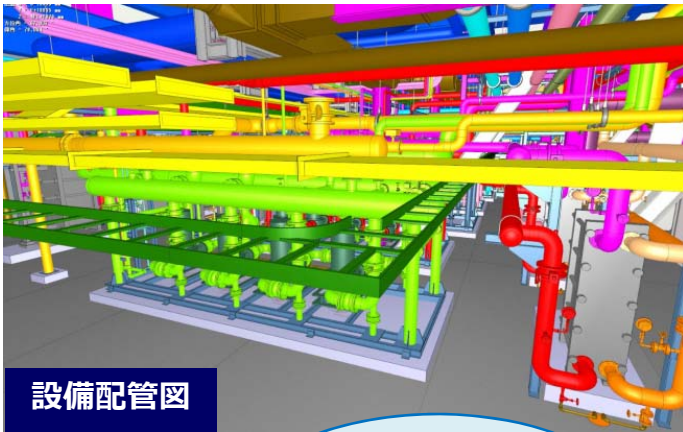
行政棟は昨年末に最上階まで鉄骨工事が完了し、本年2月より塔屋部の最終鉄骨工事が始まり
ました。また議会棟も鉄骨工事が完了し、外壁の取付けが始まっています。建物の外観がほ
ぼ姿を現し、来年のしゅん工に向けて、建物内では内装・設備工事等が進められています。

計画のポイント

BIMの活用

建物の中の電気配線や空調ダクトなどの設備配管は、狭い天井裏や床下の中に入れる必要があります。新市庁舎では、コンピューター上に建物の立体モデルを再現するBIM（Building Information Modeling）を活用して、設備配管の位置や形状を確認しています。

建設業界において、BIMは近年急速に導入・活用が進められているツールです。建築主や設計者、施工者が、現場に行かずとも立体的に確認できるため、スピーディーに検討ができます。また、施工をする際に十分なスペースがあるか、建物全体の工事の進捗状況のチェックなどにも展開できます。



設備配管図



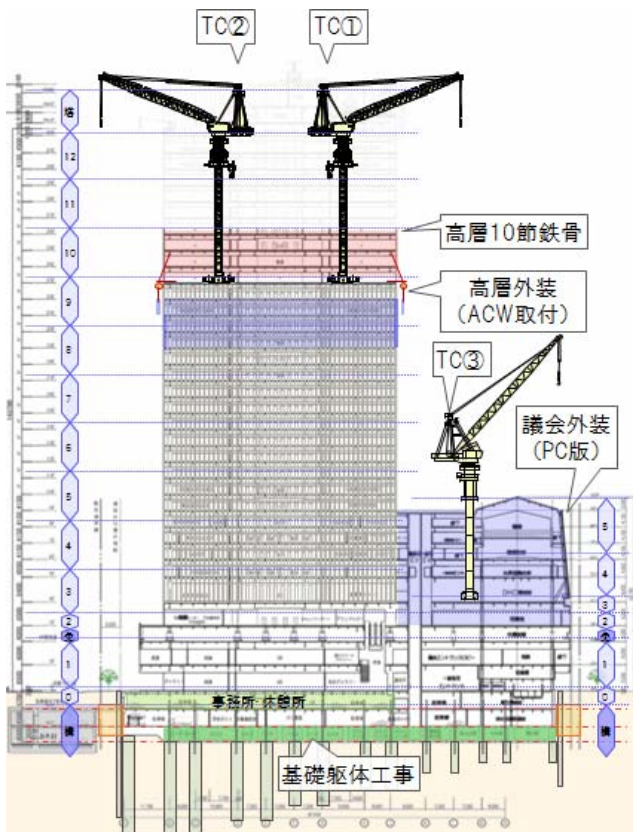
設備配管同士だけでなく、建物の柱や梁とぶつからないかも確認しやすいよ！



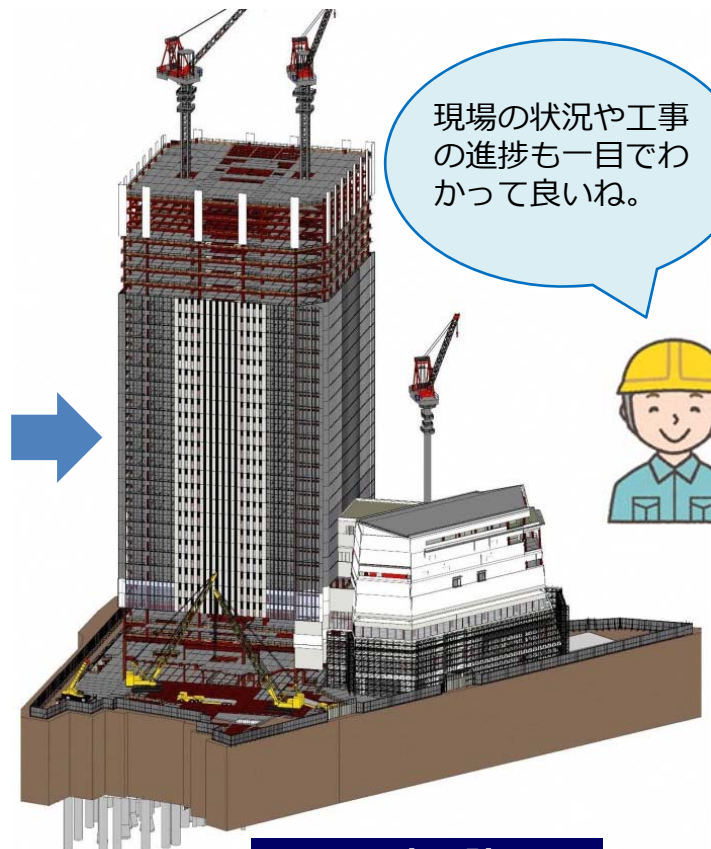
立体モデルを見ながら、その場で変更・調整できるので便利です。



BIMによる確認会



通常の2次元計画図



現場の状況や工事の進捗も一目でわかって良いね。



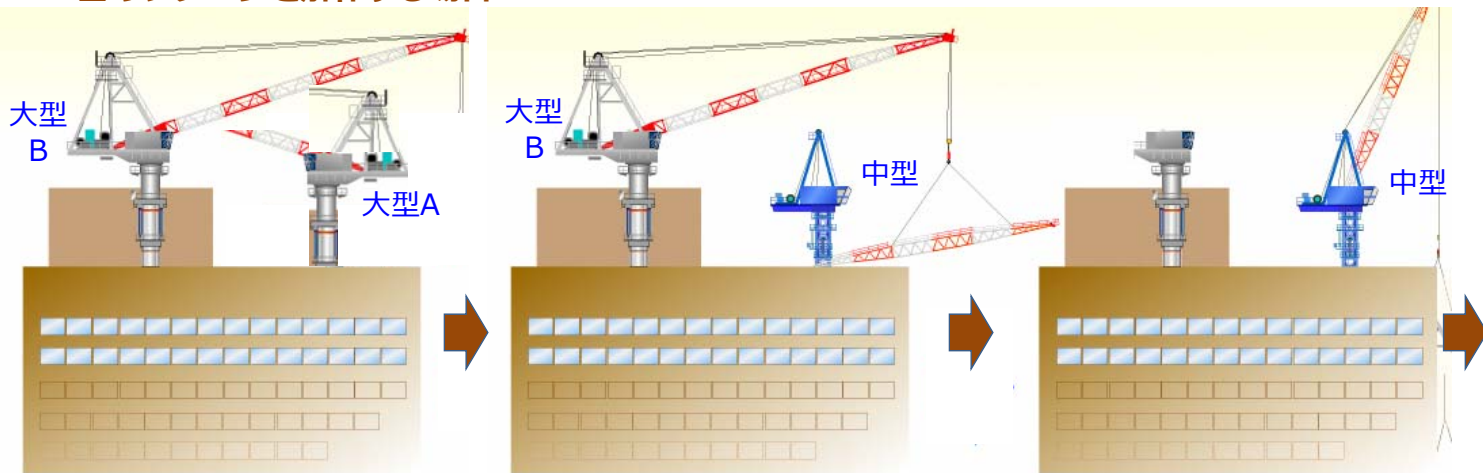
BIMによる計画図

大型タワークレーンの解体

最上階まで上がった大型のタワークレーンは、
どうやって解体するの？



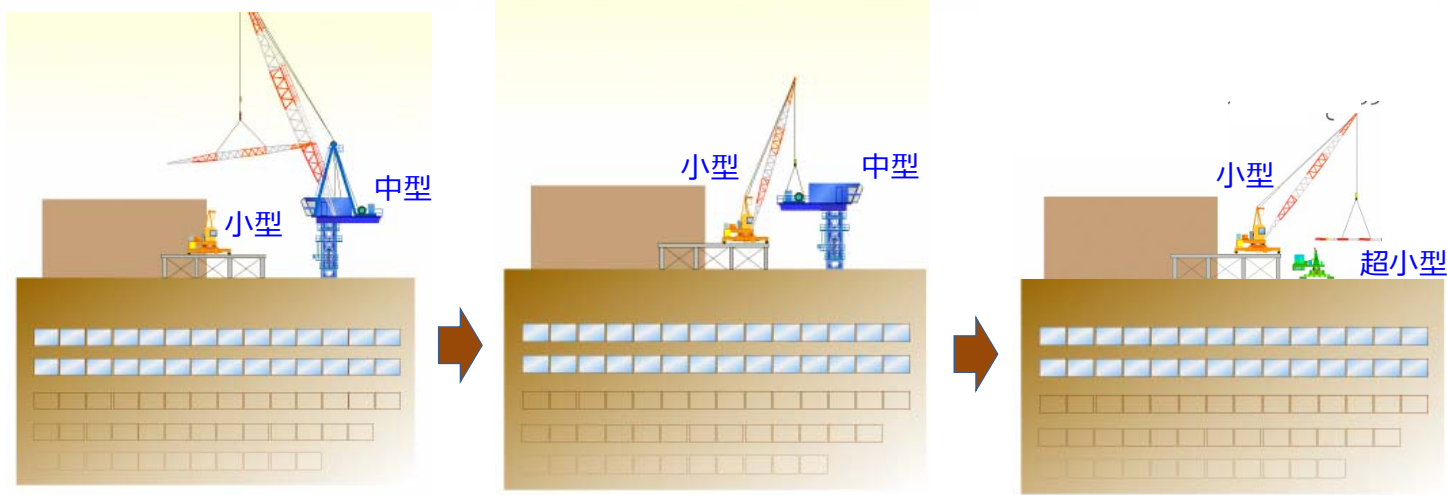
■ 2基のクレーンを解体する場合...



大型Bクレーンで大型Aクレーンを解体し、地上に降ろします

中型クレーンを組立てます

中型クレーンで大型Bクレーンを解体し、地上に降ろします



小型クレーンを組立てます

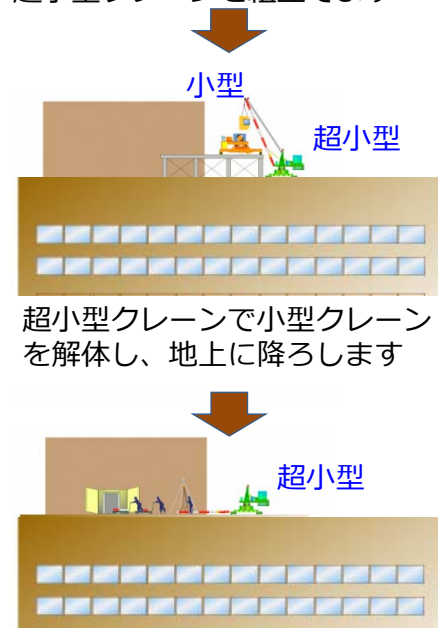
小型クレーンで中型クレーンを解体し、地上に降ろします

超小型クレーンを組立てます

タワークレーン解体工程 (例)

大型A	解体	揚重：相手のクレーン部材を吊り上げて組み立てたり、解体して部材を降ろす作業
大型B	揚重 揚重 解体	
中型	組立 揚重 揚重 解体	
小型	組立 揚重 揚重 解体	
超小型	組立 揚重 解体	
1.0~1.5ヶ月必要		

※クレーンの設置条件により異なる解体方法も行われます。



超小型クレーンで小型クレーンを解体し、地上に降ろします

超小型クレーンは人力で解体し建物内のエレベータなどで降ろします

■ 施工状況写真

行政棟の屋上では塔屋の鉄骨工事、議会棟では外壁の取付が始まり、行政棟の内部では内装工事、設備工事も高層に向って順次進んでいます。また地下では基礎の鉄筋・型枠・コンクリート工事が最盛期を迎えています。



行政棟 塔屋鉄骨工事



議会棟 外壁PC板



議会棟 外壁PC板取付



行政棟 低層部鉄骨建方

※PC板（プレキャストコンクリート板）：工場などであらかじめ製造されたコンクリート成形板

■ 施工状況写真



行政棟 機械室設備機器、配管



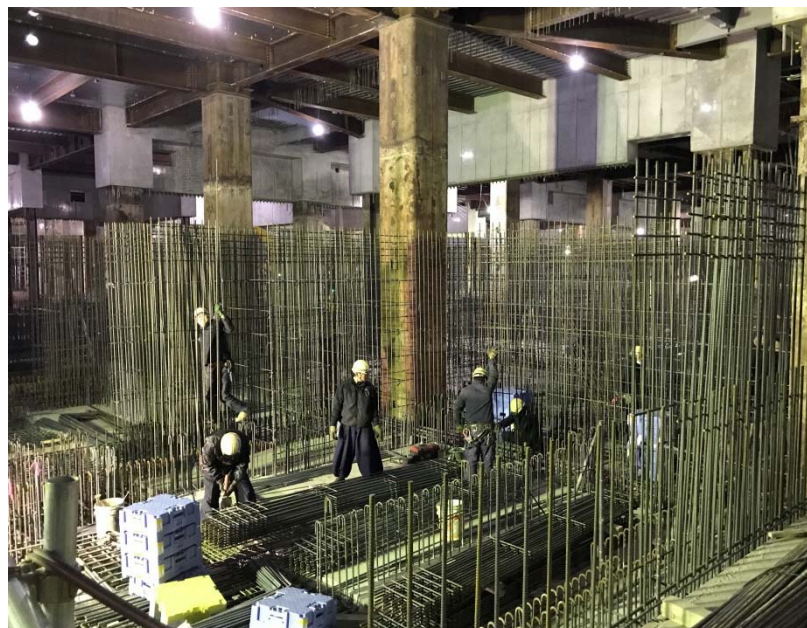
行政棟 電気設備



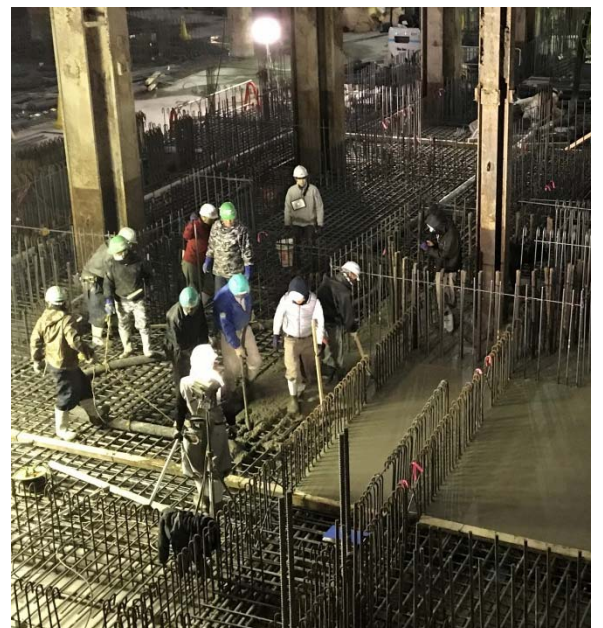
行政棟 鉄骨巻付け耐火被覆材



行政棟 設備配管・ダクト設置



行政棟 基礎梁配筋



行政棟 基礎コンクリート打設

関内外OPEN！への参画

今年で10回目を迎える「関内外OPEN！」は街をめぐりながら、アートやデザインのクリエイターとの出会いを楽しむ祭典です。当プロジェクトも「よこはま・建築フォトセッション」と銘打って、建築写真家から直接アドバイスを受けて建物を撮影するワークショップを開催しました。

開催概要

開催日：平成30年11月4日（日）13：30～16：00

開催場所：竹中・西松建設共同企業体作業所会議室（レクチャー、作品発表）
周辺建物（建築写真撮影）

当日の実施内容

当日は、若き建築家や写真家の卵たち10人が集まりました。最初に撮影テーマ「建築を切り取って作品を創ろう」の主旨や街の歴史、現地周辺の主な建物について竹中・西松JV職員から説明を聞き、その後、建築写真家の勝田尚哉氏から建築写真の構図、広角と望遠、順光と逆光などのレクチャーを受けました。

講義の後、歴史的な建物である指路（しろ）教会に足を運び、鉄筋コンクリート造でありながら本格的なゴシック建築である教会をカメラに収めました。その後自由撮影タイムでは、各自がそれぞれ興味のある建物に移動し、思い思いの写真撮影しました。

撮影タイム終了後、再度会場に集合し、各自の作品の意図や撮影の工夫点等を発表しました。



撮影前の様々なレクチャー



建物内での写真撮影



当日撮影した作品の発表と講評

発表後、勝田尚哉氏から個々に講評とアドバイスを頂き、最後に優秀作品を選定・表彰しました。

参加者から「カメラを持ち目的を絞っての街歩きは楽しかった」「プロの写真家の貴重なレクチャーを今後に生かしたい」など、好評な意見が多くありました。

次号以降も現場の状況をお伝えします。
お楽しみに！

～お問い合わせ窓口～

横浜市総務局総務部管理課新市庁舎整備担当

建築局公共建築部施設整備課新市庁舎整備担当

〒231-8315 横浜市中区本町6-50-1横浜アイランドタワー17階

E-mail: so-chosyaplan@city.yokohama.jp TEL:045-633-3912 FAX:045-664-2501

URL: <http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kanri/newtyosya/>